



## 平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社イオンファンタジー

コード番号 4343 URL <http://www.fantasy.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片岡 尚

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理統括兼リスクマネジメ  
ント担当 (氏名) 新田 悟

TEL 043-212-6203

四半期報告書提出予定日 平成27年1月14日

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年2月期第3四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	34,104	△1.6	1,928	6.6	2,338	22.8	852	1.1
26年2月期第3四半期	34,656	7.3	1,808	△17.3	1,904	△13.6	843	△11.6

(注)包括利益 27年2月期第3四半期 940百万円 (△4.2%) 26年2月期第3四半期 981百万円 (△1.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第3四半期	46.99	46.82
26年2月期第3四半期	46.48	46.33

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第3四半期	29,336	21,023	70.4
26年2月期	27,978	20,618	72.5

(参考)自己資本 27年2月期第3四半期 20,643百万円 26年2月期 20,278百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	15.00	—	15.00	30.00
27年2月期	—	15.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年 2月期の連結業績予想(平成26年 3月 1日～平成27年 2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	7.4	3,000	18.3	3,000	13.4	1,400	25.3	77.18

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) PT, AEON FANTASY INDONESIA 、 除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期3Q	18,175,688 株	26年2月期	18,175,688 株
② 期末自己株式数	27年2月期3Q	30,152 株	26年2月期	35,816 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期3Q	18,142,917 株	26年2月期3Q	18,138,106 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2014年3月1日～11月30日)は、国内外において積極出店を進めるとともに、国内事業を中心に仕入原価やコストの抜本的な見直しを行い利益確保に向けた取組みを進めてまいりました。また、2014年12月に当社グループの店舗数が世界で500店舗を達成することを記念し、11月度に‘世界で500店舗達成’記念セールを実施いたしました。

#### (国内事業)

国内事業は、消費増税の吸収策として各種原価や販管費の削減を進め利益確保に努めるとともに、遊戯機械については海外調達拡大や、使用実態に合わせた耐用年数の見直しにより減価償却費の減少となりました。一方、新規出店については外部ディベロッパーやイオン系既存ショッピングセンターへの出店を進め、11月末で11店舗の直営店舗の出店を行いました。

これにより、国内事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は307億77百万円(前年同期比6.7%減)、営業利益は19億71百万円(同5.5%減)、経常利益は24億32百万円(同12.0%増)、四半期純利益は12億6百万円(同18.2%増)となりました。

#### (海外事業)

海外事業については順調に店舗網を拡大し、損益改善が進んでおります。新規に中国18店舗(1月～9月)、マレーシア11店舗、タイ10店舗、フィリピン1店舗、カンボジア2店舗、ベトナム2店舗の合計44店舗を出店し、11月末現在の海外店舗数は157店舗となりました。

これにより、当第3四半期連結累計期間の海外事業の業績は、売上高33億58百万円(前年同期実績16億60百万円)、営業損失42百万円(前年同期営業損失2億78百万円)と大幅な損益改善となりました。

なお、海外事業はアセアンでの事業拡大に向け、5月にイオンファンタジーフィリピンを設立するとともに、11月にイオンファンタジーインドネシアを設立いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、国内事業が消費増税等の影響により減収となり341億4百万円(前年同期比1.6%減)でありましたが、海外事業の損益改善等により、営業利益は19億28百万円(同6.6%増)、経常利益は23億38百万円(同22.8%増)、四半期純利益は8億52百万円(同1.1%増)と増益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、90億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億8百万円減少いたしました。主な内訳は、当第3四半期会計期間末日が金融機関の休日のため、売上預け金のうち15億98百万円が翌営業日に決済されたことによる売上預け金の増加(23億10百万円)、新店及び既存店活性化投資に伴う資金需要の増加による関係会社寄託金の減少(60億円)であります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、203億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ35億66百万円増加いたしました。主な内訳は、当社グループの新規出店及び既存店活性化に伴う遊戯機械の増加(24億80百万円)や店舗設備等への投資であります。

この結果、総資産は293億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億58百万円増加いたしました。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、79億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億円増加いたしました。主な内訳は、地代家賃等の計上に伴う未払費用の増加(8億56百万円)であります。

この結果、負債合計は83億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億53百万円増加いたしました。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、210億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億4百万円増加いたしました。主な内訳は、四半期純利益の計上(8億52百万円)や剰余金の配当による減少(5億44百万円)であります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年4月8日公表の通期の業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間において、AEON FANTASY GROUP PHILIPPINES INC. を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

また、第3四半期連結会計期間において、PT. AEON FANTASY INDONESIA を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

### （2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### （会計上の見積りの変更）

従来より、当社及び連結子会社が保有する有形固定資産の遊戯機械の耐用年数については、各資産の使用実態を勘案して2～6年の範囲内で減価償却を行ってまいりましたが、当連結会計年度から開始する中期経営計画におけるオリジナル遊戯機械等の導入方針に基づき使用期間を見直した結果、一部の遊戯機械について従来の耐用年数よりも長期間使用する見込であることが明らかとなったため、耐用年数の範囲を2～9年に変更しております。

また、遊戯機械の耐用年数の変更を契機に、当社が保有する有形固定資産の残存価額について見直しを行った結果、当連結会計年度より備忘価額に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法に比較して、当第3四半期連結累計期間の減価償却費が1,079,873千円減少し、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益が同額増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,246,115	3,580,858
売上預け金	101,669	2,412,413
たな卸資産	1,053,891	1,520,905
関係会社寄託金	6,000,000	—
その他	836,828	1,515,851
流動資産合計	11,238,505	9,030,029
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,384,125	3,197,326
遊戯機械（純額）	9,355,109	11,835,394
その他（純額）	1,150,748	1,396,798
有形固定資産合計	12,889,983	16,429,519
無形固定資産		
のれん	824,230	411,645
その他	124,649	312,601
無形固定資産合計	948,880	724,247
投資その他の資産		
敷金及び差入保証金	2,174,925	2,367,048
その他	726,186	785,994
投資その他の資産合計	2,901,111	3,153,042
固定資産合計	16,739,975	20,306,809
資産合計	27,978,480	29,336,838
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	994,840	972,619
未払費用	850,116	1,706,655
未払法人税等	1,231,791	918,781
賞与引当金	205,231	365,746
役員業績報酬引当金	25,778	31,955
閉店損失引当金	10,956	11,816
設備関係支払手形	1,867,704	1,879,930
その他	1,846,010	2,045,860
流動負債合計	7,032,430	7,933,364
固定負債		
退職給付引当金	32,019	40,327
資産除去債務	220,310	233,808
その他	75,018	106,161
固定負債合計	327,347	380,297
負債合計	7,359,778	8,313,662

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,747,139	1,747,139
資本剰余金	1,709,697	1,704,917
利益剰余金	16,358,418	16,666,697
自己株式	△57,270	△48,185
株主資本合計	19,757,983	20,070,568
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,592	26,132
為替換算調整勘定	505,267	546,849
その他の包括利益累計額合計	520,860	572,982
新株予約権	66,142	70,256
少数株主持分	273,715	309,368
純資産合計	20,618,702	21,023,175
負債純資産合計	27,978,480	29,336,838

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
売上高	34,656,795	34,104,396
売上原価	30,633,725	29,951,829
売上総利益	4,023,069	4,152,567
販売費及び一般管理費	2,214,248	2,223,774
営業利益	1,808,820	1,928,793
営業外収益		
受取利息	10,984	10,428
為替差益	91,040	472,703
機械仕入割戻	14,164	2,567
固定資産売却益	8,471	4,256
その他	16,927	17,746
営業外収益合計	141,588	507,702
営業外費用		
固定資産売却損	35,314	74,937
その他	10,184	22,701
営業外費用合計	45,499	97,638
経常利益	1,904,909	2,338,857
特別損失		
閉店損失引当金繰入額	8,480	11,816
減損損失	32,695	318,280
店舗閉鎖損失	19,437	43,103
特別損失合計	60,612	373,200
税金等調整前四半期純利益	1,844,296	1,965,657
法人税、住民税及び事業税	1,007,247	1,435,870
法人税等調整額	△5,115	△322,712
法人税等合計	1,002,132	1,113,157
少数株主損益調整前四半期純利益	842,163	852,499
少数株主損失(△)	△867	△62
四半期純利益	843,030	852,561



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	842,163	852,499
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,411	10,539
為替換算調整勘定	132,925	77,297
その他の包括利益合計	139,337	87,837
四半期包括利益	981,501	940,336
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	966,516	904,682
少数株主に係る四半期包括利益	14,984	35,653

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	32,996,458	1,660,336	34,656,795	—	34,656,795
セグメント間の内部売上高 又は振替高	25,044	—	25,044	△25,044	—
計	33,021,503	1,660,336	34,681,839	△25,044	34,656,795
セグメント利益又は損失(△)	2,087,317	△278,497	1,808,820	—	1,808,820

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	30,745,765	3,358,631	34,104,396	—	34,104,396
セグメント間の内部売上高 又は振替高	31,456	—	31,456	△31,456	—
計	30,777,222	3,358,631	34,135,853	△31,456	34,104,396
セグメント利益又は損失(△)	1,971,666	△42,873	1,928,793	—	1,928,793

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(耐用年数の変更)

「会計上の見積りの変更」に記載のとおり、当社及び連結子会社は、一部の遊戯機械の耐用年数を変更し、また当社が保有する有形固定資産の残存価額について見直しを行いました。

この変更により、当第3四半期連結累計期間の「国内」のセグメント利益は918,545千円増加し、「海外」のセグメント損失は161,328千円減少しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期累計期間に、「国内」セグメントにおいて、318,280千円の減損損失を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期累計期間に、「国内」セグメントにおいて、のれんの減損を行ったことにより、のれんの金額に重要な変動が生じております。

当該事象によるのれんの減少額は、297,301千円であります。

なお、上記(固定資産に係る重要な減損損失)の中に当のれんの減損も含めて記載しております。